

経済指標ウォッチャー

6月米国雇用統計 堅調な雇用環境が継続中

今回の結果を受け、次回FOMCで0.75%利上げの可能性高まる

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

2022年6月の失業率は引き続き低水準

8日に米国労働省が発表した6月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比37.2万人増と市場予想の同26.5万人増を上回りました。失業率は3.6%と4カ月連続で横ばいとなっているものの、2020年2月以来の低水準を維持しています(図表1)。物価高という懸念材料はあるものの、引き続き経済活動の正常化が進んでいることから、「接客・レジャー」の雇用者数の増加が目立つ結果となりました。

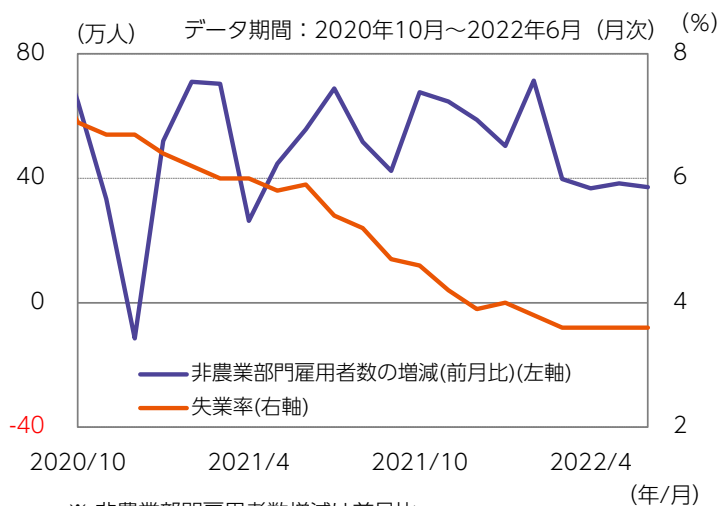
次回FOMCで0.75%の利上げの可能性高まる

非農業部門雇用者数はコロナ禍前の2020年2月と比較して、約52万人少ない(2020年2月比で99.7%)水準まで回復してきました(図表2)。16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率は62.2%と前月の62.3%から低下しました(図表2)。直近の求人数が6カ月連続で1,100万人を上回るなど、企業の採用意欲は強いとみられるものの、労働参加率が低水準で推移していることから、企業の人手不足がさらに顕著となることも考えられます。

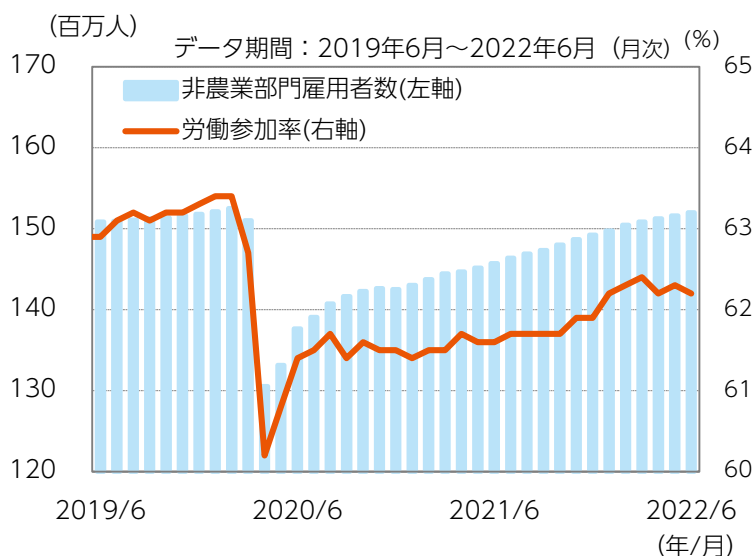
6月の労働者の平均時給は前月比+0.3%と5月の同+0.4%から伸びが低下したものの、前年同月比では+5.1%と6カ月連続で5%を上回っていることから、賃金上昇圧力は依然として強い状態にあります。

今回の結果は、FRB(米連邦準備制度理事会)の労働市場は底堅いという見方を後押ししたものとみられ、次回のFOMC(米連邦公開市場委員会)で0.75%の利上げが実施されるとの見方が大勢をしめています。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：非農業部門雇用者数と労働参加率



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>